

日 時	発 表 者	連絡先	発表・配布先
令和7年4月25（金）	（公財）ひょうご産業活性化センター 経営推進部長 水島 豪士 （成長期待企業発掘・育成担当課長 中筋 雅之）	078-977-9118	

「成長期待企業」（2024年度第4四半期選定）の情報提供について

（公財）ひょうご産業活性化センターでは、県内の中小企業支援機関等で構成する「中小企業支援ネットひょうご」事業の一環として、成長が見込める元気な企業を「成長期待企業」として発掘・選定し、企業の成長に向けた各種支援を実施しています。

この度、新たに下記の4社（累計620社）を選定しましたので、その企業の概要をお知らせします。

大洋紙業（株）（梱包資材の卸売、通販物流業務の請負）

人を想い、地球を想う FRIENDLY LOGISTICSを目指して！

（1）沿革等

- 同社は、森實隆昌氏が1959年（昭和34年）に神崎製紙株式会社（現 王子製紙㈱）の協力会社として、大阪市内に株式会社大元商会を設立した。1962年（昭和37年）に大洋紙業株式会社に社名を変更し、尼崎市に移転。2010年（平成22年）に通販物流事業を開始。2011年（平成23年）に現代表の森實啓治氏が代表取締役に就任した。営業所・配送センターを尼崎市道意町7丁目に設置。2021年（令和3年）に本社を尼崎市長洲西通2丁目に移転し、現在に至る。

（2）同社の特徴

- 同社は、兵庫県尼崎市に所在する紙・紙製品卸売会社である。紙を包む梱包資材やパレット、EC販売用のケース、ヨーグルトカップなどを取り扱っている。顧客や協力会社との信頼関係を第一に考え、付加価値の高い商品・サービスを創出・提供することに注力している。
- 物流における人材不足の解消と生産性向上を目的として、蓋閉め、封緘（ふうかん）までわずか3ステップで天面をロックできる作業性、利便性、信頼性に優れた3秒箱を開発した。また、梱包作業が簡単で効率性が高く、様々な形状の商品を確実に固定できるSHOWRAP（フィルム固定式ダンボールパット）も自社開発している。



様々な形状の商品をしっかり固定するフィルム固定式段ボールパット「SHOWRAP」

（3）今後の展開

- 1ヶ月の出荷数が千個程度の小規模なEC事業者をターゲットとして、通販物流の受託事業「E-BISS FACTORY」の受注活動に注力する。E-BISS FACTORYは、ピッキングアシストロボットや自動製函機、3秒箱を組み合わせ、物流作業を省力化、標準化する高品質でコスト競争力の高い物流受託サービスである。将来的には、「人を支援する自動化システム」の販売を行うことを目指す。



内フラップを折る 凹、凸の外フラップ折り、ワンプッシュで蓋閉める 接続部分を送り状で止めれば、封緘完了
※Point：従来のような差込み式ではなく、押し込み式で封緘

3秒箱：蓋閉め、封緘（ふうかん）までわずか3ステップで、作業負担を大幅に削減。送り状で封緘するため、粘着テープは不要

【大洋紙業（株）概要】

代 表 者： 森實 啓治
資 本 金： 1,000万円
従業員数： 12名
所 在 地： 尼崎市長洲西通2-9-15
設 立： 1959年（昭和34年）9月
電話番号： 06-6415-7877
ホームページ： <http://taiyo-gr.jp/>



「戮力協心(りくりよくきょうしん)」 皆の力を合わせて次の100年へ！

(1) 沿革等

- 同社は、1921年(大正10年)に 籠谷秀治商店として創業した。1931年(昭和6年)に キッコーマン株式会社高砂工場の指定商売人となり、飼料・肥料の販売を始める。1968年(昭和43年)に高砂飼料工業株式会社を設立。1972年(昭和47年)に電気工事業部を発足。同年、社名を変更し、株式会社籠谷とする。後継者のいない養鶏家を引き継ぎ、2000年(平成12年)に有限会社たまごの郷、2008年(平成20年)に有限会社レイを設立した。2019年(令和元年)にyellow(「たまごの郷奥丹波農場」直営のヨップ)高砂店をオープン。2021年(令和3年)にyellow神戸元町店をオープン。2023年(令和5年)に一般貨物自動車運送事業部門を株式会社ロジればとして分社化し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- 同社は、卵の専門会社として自社養鶏場と工場を持ち、農畜産物の生産加工から販売まで一貫システムを構築しており、量販店向けを中心に業容を拡大した。鶏卵卸売、卵製品製造卸売、配合飼料卸売、電気工事業を営業種目として、養鶏事業・殻付き卵・液卵・加工卵・卵焼き・卵サラダなど広くたまご事業を展開している。
- BtoCへの販売活動では直営店舗「yellow」を運営し、兵庫県産の食材を使用し地産地消に努めている。また、グループ会社の高砂飼料工業株式会社は有機肥料の生産販売を行い、販売先の生産者から生産物を入手し、加工品につなげることで循環型企業を目指している。



ブランド卵「高砂の夕日」



yellow 高砂店外観

(3) 今後の展開

- 女性が一層働きやすい環境づくりや、女性目線での商品開発を目指して結成した「籠谷なでしこチャレンジ (KNC)」プロジェクトを立ち上げた。ジェンダー平等や循環型食サイクルの実現などサステナビリティへの活動を通じ、次の100年を見据えた企業価値の向上と社会の発展に貢献していく。

【(株)籠谷 概要】

代 表 者： 小畑 成久
資 本 金： 3,000万円
従業員数： 397名
所 在 地： 高砂市荒井町御旅2-1-17
設 立： 1964年(昭和39年)7月
電話番号： 079-442-2405
ホームページ： <https://www.kagonet.co.jp>



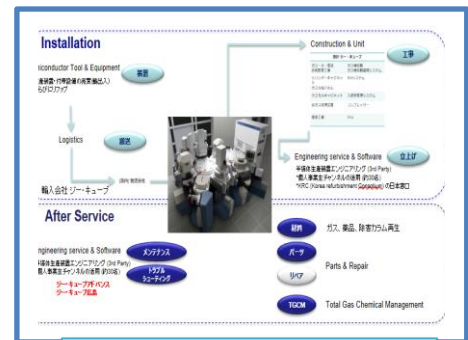
これまでにない新しい価値を社会に提供する！

(1) 沿革等

- 同社は、現代表の西村賢治氏が、2005年(平成17年)に有限会社ジー・キューブを設立した。2008年(平成20年)に株式会社ジー・キューブに社名を変更。2014年(平成26年)に株式会社 ジー・キューブアドバンスを設立。2015年(平成27年)に株式会社ジーエムテックを設立。2018年(平成30年)に株式会社京・クリエイトを設立。同年に積本(上海)半导体科技有限公司を設立。2020年(令和2年)に株式会社アニマルプラスを設立。同年にイノベーションセンター(バイオラボ)を設立。2022年(令和4年)株式会社ジーシーサイエンスを設立。2024年(令和6年)にインプレックス株式会社を買収し、現在に至る

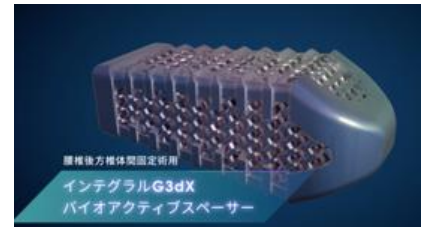
(2) 同社の特徴

- 同社は、主に半導体製造工場向けサービス全般を行っている。国内9カ所に拠点を置き、大手も含めパートナー企業約450社の半導体の製造現場に特化したサポートを行っている。半導体製造現場の設備等のコンサルティングから、半導体産業向け装置ならびに部品販売・エンジニアリング・工事・メンテナンスまで一貫して対応できる総合サポート体制が当社の強みであり、半導体業界大手と強固な信頼関係を築いている。
- 販売面では、半導体製造装置部品の販売・修理・メンテナンスをアジアや日本全国で幅広く行っているインプレックス(株)を買収・合併し、販売網の拡充を図っている。



(3) 今後の展開

- 新規事業としてメディカル／ライフサイエンス事業に参入し、医療機器、各種抗体検査キットの開発製造や、化粧品材料開発、細胞培養技術の開発などを行っている。また、神戸市の医療産業都市の中にラボを設置し、大学などとのコラボレーションで、様々な先端技術の開発・活用を行い、常に新たな技術への挑戦を続けている。



脊椎手術で脊椎の安定性の確保、適切な高さの維持、骨癒合の促進など重要な役割を果たす椎間スパーサー(脊椎用人工骨)

【(株)ジー・キューブ 概要】

代表者：西村 賢治
資本金：9,000万円
従業員数：48名
所在地：神戸市中央区港島南町1丁目5-2
神戸キメックセンタービル5F
設立：2005年(平成17年)2月
電話番号：078-304-5302
ホームページ：https://www.g3-conception.com



文具・事務用品を通じ文化と環境の高揚と創造に貢献する！

(1) 沿革等

- ・ 同社は、長澤力蔵氏が1882年(明治15年)に神戸市葺合区(現中央区)において日用雑貨商長澤紙店を創業した。1914年(大正3年)に長澤文具店として長澤丑次氏が二代目を世襲。1945年(昭和20年)に長澤堅次氏が三代目を世襲。1947年(昭和22年)に法人設立して、株式会社長澤堅次商店とする。1960年(昭和35年)に株式会社ナガサワ文具センターに社名変更した。1980年(昭和55年)に三宮いくたロードに地上7階建ての本店が竣工。1987年(昭和62年)に長澤基夫氏が四代目を世襲。2002年(平成14年)に長澤宗弘氏が五代目を世襲し、現在に至る。

(2) 同社の特徴

- ・ 同社は、明治15年の創業以来、文具(ステーショナリー)専門店として地元神戸はもちろん近畿一円に広く知られており、「三宮ナガサワ」と親しまれ年間120万人が利用している。また自社ブランドも展開しており、多くの文具ファンからの支持を得ている。「Kobe INK 物語」など、顧客の購買意欲を掻き立てる物語のある商品づくりを行っており、これを武器に成長を続けている。
- ・ 海外進出にも力を入れており、海外の文具ファンや市場のニーズに合わせた製品企画を行い、北米、東南アジア、ヨーロッパのペンショー(展示会)への出展を積極的に行っている。



2007年第1集『六甲グリーン』発売以来 大人気の Kobe INK 物語シリーズ。2025年3月末時点で第87集まで色数を増やしている



NAGASAWA オリジナル万年筆
波止場 REALO ROUGE
神戸開港 150 年記念万年筆

(3) 今後の展開

- ・ 今後もストーリー性のある商品開発を「Kobe INK 物語」にとどまらず、他のナガサワオリジナル商品にも拡大させていく。社是の「文具・事務用品を商社的発想にもちつつ、当社人財を通じて文化と環境の高揚と創造に貢献する」を実践し、ナガサワでしか買えない、ナガサワだからこそ作れる商品としてブランド力を高め、物語のある商品づくりを強みに、今後も成長を続けていく。

【(株)ナガサワ文具センター 概要】

代 表 者： 長澤 宗弘
資 本 金： 4,000万円
従業員数： 73名
所 在 地： 神戸市中央区三宮町1-9-1-140
設 立： 1882年(明治15年) 5月
電話番号： 078-321-5600
ホームページ： <https://kobe-nagasawa.co.jp/>



〔参考〕成長期待企業について

1 概 要

経営革新や新たな技術・製品・サービスの開発などに取り組んでいる県内の中小企業を応援するため、(公財)ひょうご産業活性化センターを中核機関として中小企業支援機関をネットワーク化した「中小企業支援ネットひょうご」を構築しています。

このネットワークを活用し各種の支援を実施することにより、売上・利益・雇用の面での成長が期待できる企業を「成長期待企業」として選定し、企業の成長に向けて集中的に支援を実施する(原則2年間)制度を設けています。

平成15年以降、600社を超える中小企業を選定しています。

2 選定基準

以下の選定基準(選定基準より一部抜粋)をもとに委員会にて企業を選定します。

- ① 成長が期待される元気な中小企業である。
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」の構成機関による支援策が有効に活用される業種・業態の企業である。
- ③ 県内に主たる事業所を有する企業である。
- ④ 経営方針(経営理念、具体的目標、ビジョン)がある。
- ⑤ 経営革新・第二創業や新たな技術、製品、サービス等の開発の要素がある。
- ⑥ 支援策の活用により今後3年間において、売上、利益、雇用のいずれかで成長が見込める企業である。

3 選定企業への支援

「成長期待企業」として選定された企業は、次の支援メニューを活用できます。

- ① 「コンサルティング支援」(原則2年間)
当センターの総括コーディネーター・マネージャーによる指導・助言
- ② 「専門家派遣事業による支援」(原則2年間)
ひょうご産業活性化センターの専門家派遣事業に係る費用負担の軽減
- ③ 「情報提供支援」
異業種間での経営者同士の情報交換機会の提供(ひょうご成長期待企業定例会を奇数月開催)
- ④ 「企業PR支援」
「中小企業支援ネットひょうご」のホームページ上に選定企業として掲載